

序章 科学技術の発展			
	学習指導要領の項目 (1)ア、イ	教科書 p.6～13 2 時間	

■章の目標	■章の観点別評価規準		
<ul style="list-style-type: none">科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。科学技術と人間生活との関わりについて、科学的に考察し表現する。科学技術の発展と人間生活との関わりに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	知識・技能 科学技術の発展と人間生活との関わりについて理解している。	思考・判断・表現 科学技術の発展と人間生活との関わりについて、科学的に考察し表現している。	主体的に学習に取り組む態度 科学技術の発展と人間生活との関わりに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

主な学習活動	時間	教科書ページ	重点	記録	評価の観点と方法	十分満足できる生徒の評価例	努力を要する生徒への指導の手だての例
--------	----	--------	----	----	----------	---------------	--------------------

科学技術の発展							
<div>○科学技術の歴史と発展</div> <div>・日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっているのかを考える。</div> <div>・科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を便利で豊かにしてきたことや、人間生活に不可欠であることを理解する。</div> <div>○エネルギーや情報技術の発展</div> <div>・エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらと科学技術との関わりについて理解する。</div> <div>○持続可能な未来のために</div> <div>・科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題があることを知り、持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。</div>	2	6 ～ 13	思	◎	【思考①】 科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に考察し、表現している。 [発言分析・記述分析]	科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に多面的に考察し、根拠を明確にして表現している。	「通信」や「交通」など観点を絞って調べさせ、それらが科学技術とともにどのように発展してきたかを具体的に考えることができるよう助言・指導する。
			態	◎	【態度①】 科学技術と人間生活との関わりに関心をもち、資料を調べたり、友達と対話したりしながら、科学技術が果たす役割や課題について考えようとしている。 [発言分析・行動観察]	さまざまな資料を意欲的に調べたり、対話を通して友達の考えを参考にして自らの考えを見直したりしながら、科学技術が人間生活に果たす役割や課題について多面的に考え、具体的に説明しようとしている。	スマートフォンなど生徒が日常的に利用している科学技術を利用した物を紹介し、科学技術と人間生活との関わりに関心をもち、科学技術が自分たちの生活に果たす役割や課題について主体的に考えることができるよう助言・指導する。
			知	◎	【知技①】 科学技術の発展が人間生活を便利で豊かにしてきたことや現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解している。 [発言分析・記述分析]	科学技術の発展が人間生活を便利で豊かにしてきたことや現代の人間生活に科学技術が不可欠であること、一方で科学技術の発展が環境問題などの課題をもたらしていることを、人間生活と関連付けて具体的に理解している。	スマートフォンや自動車などを例に、それらがなかったら自分たちの暮らしや社会はどうなるかを具体的に考えさせ、現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解することができるよう助言・指導する。

重点……重点的に生徒の学習状況を確認する観点 記録……全員の生徒の学習状況を記録に残す観点